

子どもの便を「見て」いますか？

便秘の子どもをもつ家庭では、親が子どもの便をまったく観察せず、「まあおそろく毎日出ているだろう」と思っているケースも多くみられます。おむつが外れていないときはもちろん、乳幼児の頃は毎日お子さんの便を見ているお母さんが多いようですが、小学校に上がったあたりからあまり気にしなくなるようです。

「うちの子はたぶん毎日排便しているだろう」と思い込んでいませんか？ 特に小学生は学校でうんちをしていると友達からかわれたり、またトイレがあまりキレイでないことも多く、学校内での排便をためらう子が非常に多いのです。

繰り返しになりますが、排便のタイミングを逃すとだんだんと便意を感じなくなるため、たとえ子どもであっても頑固な便秘になります。

まずはお子さんと毎日「うんち」の話をしましょう。そして家で排便したときはできるだけ便の状態を観察するなど、「お母さんはあなたのうんちに関心がある」というサインを子どもに出しておくことが大切です。